

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	河川維持施設整備事業						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	河川課		
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	維持係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		26 河川・水路		1 河川整備を促進する				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	3	目	2	大	3	中	3
	根拠法令・個別計画										
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	維持施設の老朽化防止及び老朽化した施設の改修を行い、施設の初期の機能を維持する。									
	内容 (手段)	<p>各施設の保守点検業者からの報告等を基に重要性、緊急性を考慮し整備を実施。機能維持のための補完として、周辺整備を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H21 自オポンプ場空調設備工事</li> <li>・H22 藤島ポンプ及び自オポンプ場アンテナ設置工事</li> <li>・H23 自オポンプ場エンジン整備工事 外1件 " 藤島雨水調整池上部整備工事 外1件</li> <li>・H24 自オポンプ場整備工事(燃料貯留槽油面計整備,除塵機用減速機整備)</li> </ul> <p>◆H24直接経費内訳 15節 工事請負費 3,423千円</p> <p>◆H25直接経費予算内訳 15節 工事請負費 2,100千円 ・自オポンプ場整備工事: 空気圧縮機整備,換気扇整備</p>									
	受益者負担	無									

			単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
	コスト	費用	直接経費		千円	430	4,986	3,423
正職員			従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
			人件費	千円	266	266	266	266
その他職員			従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	696	5,252	3,689	2,366		
対前年比		%		754.5	70.2	64.1		
財源	一般財源		千円	696	5,252	3,689	2,366	
	国・県支出金		千円	0	0	0	0	
	その他財源		千円	0	0	0	0	

業 績	活動指標名		単位	H22	H23	H24	H25
	施設改修工事	件	目標	1	3	1	2
			実績	1	4	1	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H22	H23	H24	H25
豪雨時に適正に移動し なかった回数	件	目標	0	0	0	0	
		実績	0	0	0		

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	
	事業の達成状況	前年度までの定期点検の報告に基づき、簡易な取替及び修繕による対応が不可であったポンプ関連機器の不具合を整備し豪雨時等における運用体制の維持を図り、豪雨時にポンプの故障なく適正に移動させることができた。
	事業実施における課題	維持施設の老朽化は年々進行しており、その不具合箇所の一斉発生が懸念される。
	事業を縮小・廃止したときの影響	地域の浸水被害を軽減するためにも河川維持施設は必要不可欠であり、その老朽化の進行防止、劣化の改善を行わなければ、地域の浸水を軽減することができず、甚大な被害が生じることとなる。
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 今年度における不具合箇所の整備については早着工事として対応することで、今期の豪雨等における体制を早期に整えることとした。
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持 事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	適正な機能維持が図れていることから、現状維持と判断した。
	26年度以降の改善案	維持施設の老朽化防止のために、機器本体の不具合箇所の改修のみならず外的要因の排除等様々な方策を図っていく。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。